

令和7年度第2回大網白里市環境審議会 会議次第

日時：令和8年3月27日（金）13時30分～
場所：大網白里市中央公民館 1階講義室

- 1 委嘱状交付
- 2 開会
- 3 役員選任
- 4 会長挨拶
- 5 議 題
 - (1) 次期環境基本計画策定に伴うスケジュールについて
 - (2) 大網白里市環境基本計画に基づく取組の実施状況について（報告）
 - (3) 市民アンケートの実施について（内容報告）
 - (4) その他
- 6 閉 会

	R7.9	10	11	12	R8.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R9.1	2	3	
審議会	審議会					審議会 ・委嘱（任期更新） ・検討内容報告					審議会 ・方針承認				審議会 ・パブコメ原案				審議会 ・答申作成	
庁内		予算要求	庁内組織 ・アンケート内容 ・行政施策評価 ・項目精査					・アンケート実施 ・行政施策（R7） 評価	・アンケート集計 ・方針策定（柱）		素案まとめ				議会報告			パブコメ	とりまとめ	計画策定

基本方針4-1 資源を有効に活用する循環型社会を目指します

取組 循環型の社会づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標(値) ※令和6年度当初の目標	成果(結果) ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他(今後実施を検討するもの等)	
1	生ごみたい肥化装置補助事業	地域づくり課	ハード事業	生ごみをたい肥化することにより、廃棄物の発生量を抑制する。	年間導入件数 55件	93件	A	市の既存媒体に加え、令和6年度からはyoutube動画の発信で周知・啓発を強化したため、利用実績の向上につながった。ごみ減量化の施策としての効果が期待できることから継続事業としたい。	A
2	みどりの資源化事業	地域づくり課	ハード事業	木のリサイクルにより、廃棄物の発生量を抑制する。	25件	16件	B	補助制度により一定の家庭用小型せん定枝破砕機の普及が行われた。	A
3	ごみ発生量抑制に関する啓発	健康増進課	ソフト事業	食材の廃棄を減らす工夫や料理に関する講座等において啓発を実施する。	啓発実施	リーフレット配架 広報10月号掲載	A	県からのリーフレット(食べ物のもったいないを減らそう)を、保健センターロビーに常設し、広報10月号で食品ロス削減について周知した。また、幼児の親子を対象とした「大人と子どもの食育教室」参加者(7組20名)に配布し、周知した。	A
4	資源再生利用促進奨励金制度	地域づくり課	ソフト事業	資源をリサイクルすることにより、廃棄物の発生量を抑制する。	資源物の総量 395,221kg (※R5実績) 活動団体数 42団体	380,306kg 43団体	A	制度の普及により利用団体の微増があることから継続事業とするが、今後は事業実施の有無や奨励金単価の比較等、近隣自治体の状況を調査し、費用対効果を検証したい。	A
5	みどりの資源化事業	都市整備課	ソフト事業	木のリサイクルにより、廃棄物の発生量を抑制する。	リサイクル可能な廃材が発生した場合は、リサイクルする。	リサイクルした量: 82,020kg	A	公園管理により発生した草木の処分は、リサイクルを目的とした中間処理施設へ搬出し、廃棄物の抑制を図った。	A

基本方針4-1 資源を有効に活用する循環型社会を目指します

取組 循環型の社会づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】 A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）		委員評価 A:効果があると思われる B:効果は不明である C:効果がないと思われる D:その他
6	みどりの資源化事業	財政課	ソフト事業	木のリサイクルにより、廃棄物の発生量を抑制する。	リサイクル可能な廃材が発生した場合は、リサイクルする。	今後検討	E	廃材の発生予定はないが、発生時には適正な処分を行うこととし、廃棄物の発生量抑制に努める予定である。	D
7	情報交換スペースの設置	地域づくり課	ソフト事業	家庭で不用となったものをリサイクル（リユース）することで、廃棄物の発生量を抑制する。	情報掲載件数 26件 うち成立 13件 （直近2年の平均）	情報掲載件数 15件 うち成立 8件	B	今後も市広報紙などで、市民への周知を行っていく。	A
8	ごみ減量化のPR	地域づくり課	ソフト事業	ごみ減量化を促進するための効果的なPR方法を検討する。	新たな方法によるPR実施	実施（SNS利用）	A	市公式SNSを利用し、ごみ減量化施策の普及・啓発を行うことができた。今後はさらに拡充したい。	A
9	ごみ出しマナーの啓発	地域づくり課	ソフト事業	ごみ出しマナーの向上のため、ごみカレンダーや広報紙に情報掲載する。	情報掲載数 12件 （内訳）	情報掲載数 18件 （内訳）	A	市広報紙へごみ排出マナーに関する記事掲載を行うことができた。今後も周知を継続し、マナー向上に繋げたい。	A
10	農業用廃プラスチック対策	農業振興課	ソフト事業	農業用廃プラスチック類を適正に処理するため、廃プラスチック類の処理費用の一部を補助する等支援する。	処理予定量 24,280 kg	処理量 9,130 kg	C	市対策協議会により、廃プラスチック類の一斉回収を実施し、適正処理を推進した。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-2 誰もが安心して暮らせる環境の保全に取り組みます

取組 快適に暮らせる生活環境の整備

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）		
1	排水計画の推進（排水対策事業）	建設課	ハード事業	排水マスタープランに基づいた雨水排水対策を進める。	工事の継続	工事継続 進捗率 下ヶ傍示 約10% 金谷川改修 約38%	A	成果のとおり	A
2	排水整備（維持）事業	建設課	ハード事業	排水のない箇所において、降雨時の道路及び宅地への冠水の改善を図るための整備を進める。	維持管理実施	工事継続 進捗率 南横川 約60% 上谷新田 約80%	A	成果のとおり	A
3	排水整備（新設）事業	建設課	ハード事業	道路冠水や農地冠水など排水不良箇所の改善を図るため、排水路を新設する。	工事の継続	工事継続 進捗率 北今泉 約38% 柳橋 約42% 駒込 約34% 大網 10%未満	A	成果のとおり	A
4	準用河川改修事業	建設課	ハード事業	多自然型河川づくりに配慮し、河川改修を進める。	工事の継続	工事に必要な用地確保済み	A	成果のとおり	A
5	下水道整備の推進	下水道課	ハード事業	土地利用の変更で下水道が必要となった箇所を整備する。	申し入れによる市の整備や下水道事業者（市）の承認を得て同事業者以外の者の行う工事のため目標値の設定無し	25件	A	下水道事業者の施工1件 同事業者以外の施工24件	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-2 誰もが安心して暮らせる環境の保全に取り組みます

取組 快適に暮らせる生活環境の整備

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標(値) ※令和6年度当初の目標	成果(結果) ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】 A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他(今後実施を検討するもの等)	委員評価 A:効果があると思われる B:効果は不明である C:効果がないと思われる D:その他	
6	合併処理浄化槽設置整備事業	地域づくり課	ハード事業	公共用水域の保全のため個人住宅で、汲み取り便槽・単独浄化槽から合併処理浄化槽に転換する者に対し補助金を交付する。	補助件数 15件	8件	B	申請件数は予定を下回ったが、今後も継続的に行う必要のある事業であり、令和7年度からは配管工事費用の補助も行う事とした。	A
7	地域し尿処理施設整備事業	下水道課	ハード事業	各家庭等からの汚水を処理することにより公衆衛生の向上及び生活環境の改善並びに公共用水域の水質汚濁防止に寄与する。	放流水質計画値 BOD 10mg/ℓ以下 SS 20mg/ℓ以下	コミプラ 弥幾野 BOD 1.0mg/ℓ SS 1.0mg/ℓ	A	地域し尿処理施設(コミュニティ・プラント)において、放流水質計画値を達成できた。	A
8	農業集落排水整備事業	下水道課	ハード事業	各家庭等からの汚水を処理することにより、農業集落における農業用水の水質保全及び生活環境の改善並びに公共用水域の水質汚濁防止に寄与する。	放流水質計画値 BOD 10mg/ℓ以下 SS 20mg/ℓ以下	農業 小西・養安寺 BOD 1.3mg/ℓ SS 3.0mg/ℓ 南横川 BOD 2.2mg/ℓ SS 2.0mg/ℓ	A	農業集落排水施設において、放流水質計画値を達成できた。	A
9	廃食用油回収拡大の検討	地域づくり課	ソフト事業	廃食用油の回収について、拡大する方法を検討する。	回収拠点の拡大 現状3箇所の維持	現状3箇所の回収場所を確保	A	市役所本庁舎(大網地区)、中部コミュニティセンター(増穂地区)、白里出張所(白里地区)の、3箇所の回収場所を今後も確保していく。	A
10	ペット糞害対策	地域づくり課	ソフト事業	ペットの糞害等に関するトラブルをなくすため、広報紙等への掲載を通じて飼い主等に対する意識啓発等を行う。	相談件数 15件	相談件数 19件	B	野良猫へ餌やりを行っている方への指導や広報などでの注意喚起を行い、さくら猫活動で野良猫の増殖の防止を実施。	D

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-2 誰もが安心して暮らせる環境の保全に取り組みます

取組 快適に暮らせる生活環境の整備

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）		
11	近隣騒音対策の推進	地域づくり課	ソフト事業	近隣に配慮した暮らし方や営業の実施等を広く呼びかける等、近隣騒音の防止に努める。	近隣騒音に関する相談件数 3件 (直近2年の平均)	相談件数 2件	B	今後も市広報紙などで、市民への周知を行なっていく。	A
12	地盤沈下・地下水汚染対策の推進	地域づくり課	ソフト事業	関係機関との協力のもと、地盤沈下や地下水汚染の対策に努める。	会議参加	会議参加 1回	B	地盤沈下に関しては、毎年千葉県及び関係市町村で構成する九十九里地域地盤沈下対策協議会において、地盤沈下対策を協議・検討している。	A
13	不法投棄監視員による監視活動の推進	地域づくり課	ソフト事業	不法投棄監視員を配置することにより、不法投棄の早期発見と防止に寄与し、生活環境を保全する。	不法投棄通報件数 51件 (直近2年の平均)	52件	A	不法投棄監視員と連携し、不法投棄事案の速やかな対応が図れた。	A
14	浄化槽に関する情報の広報掲載、指導	地域づくり課	ソフト事業	浄化槽の適正管理について広報やパンフレットにより周知する。	周知回数 3回 媒体：広報・ホームページ	3回 媒体：広報・ホームページ	A	単独浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換時の補助金内容や浄化槽についての広報掲載を行った。	A
15	空き家対策の推進	地域づくり課	ソフト事業	空き家の状況把握を行い、所有者に対して適正な管理を促すとともに、有効活用などを図り、管理がなされていない空き家の増加抑制に努めます。	空き家相談件数 18件 (直近2年の空き家バンクの平均相談件数)	空き家相談件数 15件	A	今後も市広報紙などで、市民への周知を行なっていく。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-2 誰もが安心して暮らせる環境の保全に取り組みます

取組 快適に暮らせる生活環境の整備

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】 A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）	委員評価 A:効果があると思われる B:効果は不明である C:効果がないと思われる D:その他
16	自転車のルール・マナーの徹底	安全対策課	ソフト事業	自転車利用におけるルールや、マナーを徹底するため、講習会の開催やパンフレット作成などを行う。	街頭監視・街頭啓発の実施	街頭監視・街頭啓発を実施	A 市広報紙やホームページでの啓発記事を掲載。毎月15日の自転車安全の日に合わせて東金交通安全協会大網白里支部による街頭監視及び街頭啓発を実施。さらに、10月から自転車乗車用ヘルメットの購入補助事業を開始し、189件の申請を受け付けた。	A
17	自転車のルール・マナーの徹底	管理課	ソフト事業	自転車利用におけるルールや、マナーを徹底するため、講習会の開催やパンフレット作成などを行う。	講習会の実施	講習会の実施	A 全小中学校で講習会を実施し、多くの学校で東金交通安全協会及び東金警察から指導を受けて実施した。また、適宜自転車の乗り方やルール等について学ぶ機会を設けた。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-3 豊かな自然を守り、自然にふれあえる環境をつくります

取組 緑の空間づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満	
1	多目的広場整備事業	都市整備課	ハード事業	緑の基本計画において拠点となる緑の位置づけがされた北今泉・桂山・九十根などについて、本市のレクリエーションの場や災害時の避難場所として整備を行う。	維持管理実施	維持管理実施	A	多目的広場の適切な維持管理を行っている。	A
2	公園整備事業	都市整備課	ハード事業	小中池公園や都市公園の整備を進め、優れた自然環境の保全はもとより、市民や来訪者の憩いの場を創出する。	維持管理実施	維持管理実施	A	小中池公園の再整備に向けて、基本計画の策定に取り組んでいる。また、都市公園の適切な維持管理を行っている。	A
3	公園・緑地管理業務	都市整備課	ハード事業	公園の環境美化、機能の維持及び緑地の保全を図るため、植栽や施設等の維持管理を行う。	維持管理実施	維持管理実施	A	管理委託や直営により公園や緑地の適切な維持管理に努めている。	A
4	圃場整備事業	農業振興課	ハード事業	田園景観と自然環境の保全に配慮した圃場整備を進める。	圃場整備	令和7年度着工見込み	E	山辺地区は、ほ場未整備地域で道幅が狭く大型機械の導入ができず、用排水路も未整備で水田の汎用化が望まれているとともに、低コスト化を図るためのほ場整備が待たれている。（工事は令和7年度着工を見込んでいる。）	D
5	歩道の整備	建設課	ハード事業	歩行者が安心して歩ける歩道整備を進める。	(南飯塚地内)	進捗率 50%	A	南飯塚地内で実施、進捗率は約50%	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-3 豊かな自然を守り、自然にふれあえる環境をつくります

取組 緑の空間づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）		
6	バリアフリーのまちづくりの推進	都市整備課	ハード事業	段差の解消などを行い、全ての市民が安心して快適に歩けるよう、バリアフリーを推進する。	開発行為等における指導実施	開発行為等における指導実施	A	点字ブロックの設置、歩道の平坦性の確保に配慮し、開発行為等においては、引き続き適切な指導を行っていく。	A
7	バリアフリーのまちづくりの推進	建設課	ハード事業	段差の解消などを行い、全ての市民が安心して快適に歩けるよう、バリアフリーを推進する。	(南飯塚地内)	進捗率 50%	A	南飯塚地内において実施、進捗率は約50%	A
8	海岸清掃の実施	商工観光課	ソフト事業	シルバー人材センターを活用した海岸清掃により、海岸の保全・美化を進める。	海岸清掃実施日数 62日	海岸清掃実施 62日	A	シルバー人材センターではなく専門業者に委託し、海岸清掃を実施した。令和6年度は62日間実施。	A
9	緑化技術・手法のPR	都市整備課	ソフト事業	緑化のための技術や方法についてPRする。	PR実施	PR実施	A	花の団体や花のボランティア連絡協議会により公共空地への植栽活動により緑化推進への意識向上を図っている。	A
10	花とふれあいのあるまちづくり推進事業	都市整備課	ソフト事業	地域のコミュニティを充実させながら、草花等の植栽による明るいまちづくりの形成を図る。	連携するボランティア団体数 8団体	8団体と連携	A	花の団体（8団体）による植栽活動及び花のボランティアによる公共施設への植栽活動により、地域のコミュニティの充実とまちづくりの形成に努めている。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-3 豊かな自然を守り、自然にふれあえる環境をつくります

取組 緑の空間づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満	
11	ごみゼロ運動の実施	地域づくり課	ソフト事業	毎年5月30日（ごみゼロの日）直近の日曜日に、市内の自治会などを中心に、ごみゼロのまちを目指して一斉清掃を実施する。	参加者 6,000人	参加者 5,782人	A	通常5月に開催するところ他の行事との関係で日程が変わったため、当日の参加人数は多少減ったものの、回収重量は前年度より増加しており、地域の環境美化に対する意識の高さがうかがえる。引き続き事業実施の予定である。	A
12	ウォーキングルートの活用	生涯学習課	ソフト事業	市の歴史や自然を知ることのできる冊子、歴史散歩道「先人往来」を活用した事業を検討・実施する。	周知啓発	周知啓発	A	デジタル博物館のウォーキングコースの広報周知を、公式SNS、出前講座受講者や各種講座の受講者に周知した。	A
13	ウォーキングルートの紹介・PR	都市整備課	ソフト事業	市内でウォーキングを楽しめるコースの紹介やPRを行う。	ホームページへの掲載	ホームページへの掲載	A	首都圏自然歩道をホームページにて紹介している。	A
14	マップ作成	地域づくり課	ソフト事業	ウォーキングルートの利用促進を図るために、市民との協働でわかりやすいマップを作成する。その際に、市の名所や文化財、歴史などの情報を盛り込んだマップとする。	マップ作成	マップ作成	E	協働事業により「我がまち魅力発見ガイドマップ」を作成済みである。	D
15	都市農村ふれあい農園整備事業	農業振興課	ソフト事業	遊休農地の有効活用及び非農家の農業体験ニーズに応えながら、農家と非農家との交流による市農業への理解を広げるため、市民農園の円滑な運営を図る。	円滑な運営の実施	農園利用者104名	A	引き続き農園利用者の要望に応えながら円滑な運営を行っていく。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-3 豊かな自然を守り、自然にふれあえる環境をつくります

取組 緑の空間づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標(値) ※令和6年度当初の目標	成果(結果) ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他(今後実施を検討するもの等)	
16	エコツーリズム、グリーンツーリズムの導入	農業振興課	ソフト事業	農業体験や里山保全作業体験、また市民農園の運営など、まちのあるがままの自然にふれあう場を提供する。	行事实施	さつまいも収穫体験会 参加人数 121人	A	農業体験の場として、市農業研究会が主催する「さつまいもの収穫体験会」は、令和6年11月17日に開催され、おとな、こども合わせて121人が参加した。	A
17	農業振興地域整備計画策定業務	農業振興課	ソフト事業	農業振興の基盤となる農用地の確保を図るための基本計画を策定する際に、生態系をはじめとする環境に配慮する。	見直し実施	見直し実施済	E	平成29年度に見直し済	D
18	里山の保全	農業振興課	ソフト事業	谷津田、切り通しなども含めた貴重な里山を保全していく。	整備実施	整備実施 (おおみりやまの会)	A	おおみりやまの会が里山の整備活動を実施している。	A
19	十枝の森等の屋敷林、社寺林等の保全・拡大	生涯学習課	ソフト事業	十枝の森をはじめとする貴重な森、屋敷林、社寺林などを保全する。	緑地・山林の保全 十枝の森の管理	補助団体を通じた管理実施	A	社寺林・屋敷林等の緑地・山林の保全に努めている。また、補助団体を通じて十枝の森の管理を行っている。	A
20	十枝の森等の屋敷林、社寺林等の保全・拡大	生涯学習課	ソフト事業	十枝の森をはじめとする貴重な森、屋敷林、社寺林などを保全する。	十枝の森の管理	補助団体を通じた管理実施	A	補助団体を通じて十枝の森の管理を行っている。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-4 地球環境に配慮し、地球温暖化等の環境対策に取り組みます

取組 低炭素の社会づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上 B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）	A:効果があると思われる B:効果は不明である C:効果がないと思われる D:その他	
1	雨水貯留槽の設置	生涯学習課	ハード事業	公共施設で率先して雨水貯水槽を設置し、雨水利用に努める。	雨水貯留槽設置済	雨水貯留槽設置済	A	大網白里アリーナの雨水は、トイレ水洗用水として使用し、年間約3割の節水効果がある。	A
2	雨水貯留槽の設置	財政課	ハード事業	公共施設で率先して雨水貯水槽を設置し、雨水利用に努める。	庁舎改修時検討	庁舎改修時検討	E	本庁舎については、大規模改修時に検討する。	D
3	省エネ照明導入事業	財政課	ハード事業	省電力照明を公共施設で率先して導入する。	省電力照明導入済	省電力照明導入済	A	本庁舎、庁舎別棟（財政課所管）には導入済みである。	A
4	新エネルギーの公共施設への率先導入	財政課	ハード事業	太陽光発電や太陽熱をはじめとする新エネルギーを公共施設で率先して導入する。	庁舎改修時検討	庁舎改修時検討	E	本庁舎については、施設の大規模改修時に検討する。	D
5	新エネルギーの公共施設への率先導入	管理課	ハード事業	太陽光発電や太陽熱をはじめとする新エネルギーを公共施設で率先して導入する。	新築・改築時検討	新築・改築時検討	E	今後、新築・改築を実施する際に導入を検討する。	D

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-4 地球環境に配慮し、地球温暖化等の環境対策に取り組みます

取組 低炭素の社会づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）	
6	ソーラー外灯設置事業	安全対策課	ハード事業	停電時でも照明が使えるという機能面と、太陽光発電は無尽蔵で枯渇の心配もなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を増やさないという環境面からソーラー外灯の設置を進める。	外灯設置	外灯設置済み	A	指定緊急避難場所4か所、津波避難経路19箇所にソーラー外灯を設置済みであり、今後、利用可能な補助制度等を研究し、新たな設置箇所を検討していく。	A
7	住宅用設備等脱炭素化促進事業	地域づくり課	ハード事業	個人住宅に住宅用脱炭素化設備を設置する者に対して補助を行う。	補助件数 エネファーム 1件 蓄電池 25件 窓の断熱改修 6件 電気自動車等 4件 V2H 2件	補助件数 エネファーム 1件 蓄電池 15件 窓の断熱改修 12件 電気自動車等 2件 V2H 1件	A	今後も市広報紙等で、市民への周知を行なっていく。	A
8	温室効果ガス排出量の削減	地域づくり課	ソフト事業	地球温暖化対策実行計画（事務事業）を基に、温室効果ガスの排出量削減に努める。	目標値 3,919t	結果 4,201t	C	中間目標である3,919tを達成できなかった。その原因を明確にし、2030年度に掲げる目標（2,613t）に向けて達成できるよう職員向け会議を開催し対策を講じていく。	D
9	消耗品利用量の削減	財政課	ソフト事業	財務会計システム更新に伴い、予算書及び決算書を市ホームページに掲載することで印刷部数を削減する。（主に庁内配用）	印刷部数削減	印刷部数削減実施	A	それぞれ電子データ化し、市ホームページに掲載することで印刷部数を最小限に抑えた。	A
10	温暖化対策技術のPR	地域づくり課	ソフト事業	地球温暖化対策の取組み方法などについてPRする。	年2回周知	温暖化対策及び住宅用設備等脱炭素化促進事業を広報紙の5月、7月、8月、9月で周知を実施した。	B	今後も市広報紙等で、市民への周知を行なっていく。	A

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-4 地球環境に配慮し、地球温暖化等の環境対策に取り組みます

取組 低炭素の社会づくりの推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満	
11	環境教育の実施	管理課	ソフト事業	植栽などによる学校緑化を推進し、緑に包まれた潤いある教育環境づくりを推進する。	市内全小中学校で実施	市内全小中学校で実施済（10校）	A	市内の全小中学校で実施済みである。	A
12	公共交通（バス）路線網の維持・確保	企画政策課	ソフト事業	公共交通機関の利便性向上を図り、自家用自動車を抑制することにより環境問題や道路渋滞の解消を図る。	利便性向上施策の実施	利便性向上施策を実施	A	公共交通機関（路線バス・コミュニティバス）の利便性向上を図るため路線バスへのICカード決済導入について、運行事業者と協議。路線バス利用者の増加を図るため、令和5年度から通学定期券利用者への補助事業を開始した。 ※令和6年度実績 219件	A
13	新しい公共交通の推進	企画政策課	ソフト事業	公共交通の空白地帯を解消し、自家用自動車を抑制することにより環境問題や道路渋滞の解消を図る。	コミュニティバスの継続運行	コミュニティバスの継続運行	A	増穂・白里地区にコミュニティバスを継続運行した。このことによって、増穂地区及び白里地区における公共交通空白地域の大部分が解消され、移動手段が確保されたことによって自家用自動車の抑制につながっていると考えられる。 また、白里地区コミュニティバスについては、令和6年4月より、増穂地区のスーパーカスミに停留所を設置したことにより、利用者の増加に繋がった。 ※令和6年度利用実績	A
14	鉄道の利便性の向上の要請（JR東日本への要請）	企画政策課	ソフト事業	運行ダイヤ等の充実により利用者の増加が見込まれ、自家用自動車を抑制することにつながり、もって環境問題や道路渋滞の解消を図る。	JRへの要請による朝夕通勤時間帯の増便	JRへの要請	E	市民の要望を踏まえてJRに対してダイヤの充実や施設整備の要望を実施しているが、人口減少や少子高齢化等の影響による利用者の減少もあって具体的な増便等の実現には至っていない。	D

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-5 環境を学び、発信し、人の環を広げます

取組 協力体制と環境意識向上の推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満	
1	自然環境データの収集整理	地域づくり課	ソフト事業	市民等との協働で、自然環境に関するデータを収集整理する。	市民等と自然環境データ収集等の実施	未実施	E	実施方法等について検討する。	D
2	緑化技術・手法のPR	農業振興課	ソフト事業	緑化のための技術や方法についてPRする。	門松カード・花の種配布	門松カード・花の種配布	A	緑の募金の還元事業として門松カードと花の種の配布を実施した。 門松カード：33,000枚、花の種：300袋	A
3	小中学生ボランティア（調査員）の育成	管理課	ソフト事業	環境調査の実施に当たり、調査員として小中学生ボランティアを育成し、学校教育の中で環境への関心を深める。	環境ボランティア育成	環境ボランティア育成	A	市内全小中学校（10校）で実施済みである。	A
4	廃食用油の活用方法の検討	管理課	ソフト事業	回収した廃食用油の活用方法を検討する。	廃食用油のリサイクル実施	廃食用油のリサイクル実施	A	各学校で給食調理時に発生した廃食用油を保管し、リサイクル専門業者に回収させている。	A
5	環境教育プログラムの展開	地域づくり課	ソフト事業	環境教育プログラムを展開し、環境問題に関心をもち、環境に対して取組みができる子どもたちを育てる。	職場体験学習の実施	未実施	C	引き続き学校からの要望があれば実施する。	D

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-5 環境を学び、発信し、人の環を広げます

取組 協力体制と環境意識向上の推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）	
6	環境教育プログラムの展開	管理課	ソフト事業	環境教育プログラムを展開し、環境問題に関心をもち、環境に対して取組みができる子どもたちを育てる。	環境教育の実施	環境教育の実施	A	市内全小中学校（10校）で実施済みである。	A
7	総合学習推進事業	管理課	ソフト事業	小さな生き物や植物が生育するためには、環境をごみや化学物質などから守ることが大切であることを、身近な自然環境にふれあう学習活動（自然科学、野菜作り、田植え等）を通じて指導する。	総合学習の推進	総合学習の推進	A	市内全小中学校（10校）で実施済みである。	A
8	いきいき市民大学講座事業	生涯学習課	ソフト事業	各界で活躍している講師を招き、講演形式の生涯学習講座を年5回程度開設。受講生のニーズにより環境分野の講演を企画する。	環境講演の実施	環境に関する親子参加型講座実施	E	事業形態が令和3年度から変わったため、環境に特化した講演に限定することが難しい。 令和6年度は、環境に関する親子参加型の講座を実施、54名が参加した。	D
9	広報・ホームページ学習情報掲載	生涯学習課	ソフト事業	いつでも、どこでも、だれでも住民に対して広く学習の場の情報を提供する	情報提供の実施	情報提供の実施	A	公民館及び中部コミュニティセンターでは、主催講座等のポスターの掲示やチラシの配布、ホームページへの情報掲載を行い、学習の場としての情報提供を実施した。	D
10	人材バンク登録	生涯学習課	ソフト事業	人的な資源を生かした学習機会の拡充を図る。	講師の登録	講師の登録	E	生涯学習ボランティア講師制度登録者は19名おり、4名が環境関連の分野の講師となっている。	D

第2次環境基本計画に基づく取組の実施状況について（令和6年度末状況・委員コメント付）

基本方針4-5 環境を学び、発信し、人の環を広げます

取組 協力体制と環境意識向上の推進

個別の取組み

No.	業務名	所管課	ハード/ソフトの別	内容	目標（値） ※令和6年度当初の目標	成果（結果） ※令和6年度実施結果	所管課による評価【めやす】		委員評価
							A:目標に対して80%以上	B:目標に対して50%以上80%未満 C:目標に対して50%未満 D:中止又は終了を検討しているもの E:その他（今後実施を検討するもの等）	
11	ボランティア・NPOへの情報提供	生涯学習課	ソフト事業	市内で活動するボランティア団体の活動内容等を分野別に市ホームページに掲載し、市民に対して情報提供を行う。	情報掲載	情報掲載	A	補助団体等の各種事業、講座等の活動を広報紙や市ホームページで紹介している。	A
12	ボランティア・NPOへの情報提供	地域づくり課	ソフト事業	市内で活動するボランティア団体の活動内容等を分野別に市ホームページに掲載し、市民に対して情報提供を行う。	情報掲載	情報掲載	A	登録されている各ボランティア団体（24団体）の活動内容等を市ホームページに掲載し、情報提供を実施している。	D
13	市民参加の推進	地域づくり課	ソフト事業	自然保護・環境保全に関するまちづくりに対して、住民からの提言・活動の場を提供するなど、市民参加の推進を図る。	協働事業実施	協働事業実施	A	地域課題を解決するために、住民団体等が自主的に企画、実施する公益性のあるまちづくり事業に、市と協働で取り組む住民協働事業を実施した。（令和6年度は1団体）	D

行政施策評価票の再点検表（資料2-1から抜粋）

基本方針4-1 資源を有効に活用する循環型社会を目指します

No.	所属課	事業名	委員評価	委員コメント	委員意見に対する各課からの回答	今後、内容又は目標の変更	左記で「有」の場合、具体的に記入してください
6	財政課	みどりの資源化事業	D	今後廃材が発生した際には具体的な対策を講じるべき。	廃材の発生予定はないが、発生時には適正な処分を行うこととし、廃棄物の発生量抑制に努める。	無	

基本方針4-2 誰もが安心して暮らせる環境の保全に取り組みます

No.	所属課	事業名	委員評価	委員コメント	委員意見に対する各課からの回答	今後、内容又は目標の変更	左記で「有」の場合、具体的に記入してください
10	地域づくり課	ペット糞害対策	D	広報紙だけでなく、他の有効な啓発方法を検討した方が良い。	SNSも使用し、情報発信手段を増やしたい。	無	
12	地域づくり課	地盤沈下・地下水汚染対策の推進	A	千葉県と関係市町で必要な会議を開催し、情報共有や対策を講じているため評価できる。	引き続き関係機関との連携を図り情報共有に努めたい。	無	

基本方針4-3 豊かな自然を守り、自然にふれあえる環境をつくります

No.	所属課	事業名	委員評価	委員コメント	委員意見に対する各課からの回答	今後、内容又は目標の変更	左記で「有」の場合、具体的に記入してください
4	農業振興課	圃場整備事業	D	計画通りに進めてもらいたい。	計画通りに進められるよう関係機関・団体等と調整を図ります。	無	
14	地域づくり課	マップ作成	D	好評のため増刷等について検討してもらいたい。	ペーパーレスという時代に沿った形で、PDFとして市HPに掲載することを検討します。	無	
17	農業振興課	農業振興地域整備計画策定業務	D	今後、計画の見直しの際には、目標を改めて設定してもらいたい。	計画の全体見直しの際に、目標設定を改めるよう検討します。	有	計画の全体見直しを実施する場合、まず基礎調査を行った上で翌年度に基礎調査の結果を基に見直しを行うこととなるため、環境基本計画における内容又は目標の変更についても基礎調査の結果を踏まえて検討することとする。

基本方針4-4 地球環境に配慮し、地球温暖化等の環境対策に取り組みます

No.	所属課	事業名	委員評価	委員コメント	委員意見に対する各課からの回答	今後、内容又は目標の変更	左記で「有」の場合、具体的に記入してください
2	財政課	雨水貯留槽設置	D	改修時に導入を検討してもらいたい。	本庁舎については、大規模修繕時に検討します。	無	
4	財政課	新エネルギー公共施設への率先導入	D	改修時に導入を検討してもらいたい。	本庁舎については、大規模修繕時に検討します。	無	
5	管理課	新エネルギー公共施設への率先導入	D	新築・改修時に導入を検討してもらいたい。	新築・改修時に導入を検討します。	無	
8	地域づくり課	温室効果ガス排出量の削減	D	会議の開催だけを目的とせず、具体策を講じるべき。また温室効果ガスの内訳を分析し、対策の効果を見える化してもらいたい。	年度当初に各課から前年度にかかったガソリンや電気料等のデータをもらい集計し、その結果を会議で報告しているところですが、資料の中により詳細なデータを掲載し、行政としてできる対策の具体例を示していきたいと思えます。	無	
14	企画政策課	鉄道の利便性向上	D	環境問題への配慮や住民ニーズを、継続してJRに要望してもらいたい。	引き続き、利便性向上に向けた、要望を行ってまいります。	無	

基本方針4-5 環境を学び、発信し、人の環を広げます

No.	所属課	事業名	委員評価	委員コメント	委員意見に対する各課からの回答	今後、内容又は目標の変更	左記で「有」の場合、具体的に記入してください
1	地域づくり課	自然環境データの収集整理	D	市民と協働で実施方法を検討し、環境教育に繋げてもらいたい。	市民との協働は重要であると考えております。一方で、精度の高いデータ収集と教育効果を充実させるため、市民が無理なく継続して参加できる仕組みを検討してまいります。	無	
5	地域づくり課	環境教育プログラムの展開	D	学校からの要望を待つだけでなく、市が積極的に働きかけてもらいたい。	現在の執行体制では全校への均一な対応やプログラムの質の維持が物理的に困難な状況です。そのため、各学校からの具体的にニーズに基づき、最適な内容を提供することに注力してまいります。	無	
8	生涯学習課	いきいき市民大学講座	D	今後は別の形で環境関連の生涯学習機会を提供することを検討してもらいたい。	市民向けの学習機会の場として、いきいき市民大学講座の代替事業として市民公開講座を実施しており、令和6年度に環境関連とする講座として気象予報士を招いた講座を実施しました。	有	事業名：「いきいき市民大学講座」→「市民公開講座」に変更 内容：「各界で活躍している講師を招き実施している市民公開講座のテーマに環境や自然の分野を取り入れる。」に変更。
9	生涯学習課	広報・ホームページ学習情報掲載	D	どの情報媒体が効果的かを把握するため、「どうやって情報を知ったか」アンケート等で確認すると良い。	各種事業後のアンケートで「どうやって情報を知ったか」の項目を設けて調査をしております。また令和6年度に生涯学習に関する市民意識調査を実施し、「情報提供の方法は、どのようなものを希望しますか」という質問をしており、どの情報媒体が効果的かを確認しております。	無	
10	生涯学習課	環境人材バンクへの登録	D	実際にどれだけ活用されたか確認してもらいたい。	生涯学習ボランティアの環境分野での活用はありません。	無	
12	地域づくり課	ボランティアNPOへの情報提供	D	情報掲載を継続して行ってもらいたい。	引き続きホームページ等を活用し情報提供を行います。	無	
13	地域づくり課	市民参加の推進	D	継続して声かけをしてもらいたい。	地域課題の解決に向け、引き続き住民協働事業の推進を図ります。	無	

次期環境基本計画策定に係る市民アンケート調査 実施概要

項目	一般市民（20歳以上）	児童・生徒（小5・中2）
調査対象	市内在住の20歳以上の個人	市内小学校5年生、中学校2年生
対象人数	1, 500名	約610名（3月1日時点） 中学校3校の2年生 小学校7校の4年生
抽出・選定方法	層化無作為抽出 （年代・地区の人口構成比に合わせ抽出）	対象学年の全員を対象
回答方法	電子アンケート（スマートフォン等を使用）	電子アンケート（学校配布のタブレット端末を使用）
案内・配布方法	郵便による案内状の個別送付	学校（クラス担任）を通じて案内
配慮事項・工夫	50歳以上の対象者には、紙の回答用紙と返信用封筒を同封し、郵送回答も可能とする	1人1台端末を活用し、学校生活の中でスムーズに回答できるよう調整
実施予定期間	令和8年4月～5月	左記に同じ
期待される効果	利便性向上による幅広い層の意識把握、コスト削減、環境負荷低減	デジタル環境を活かした高い回収率の維持、次世代を担う層の意見反映

あなたご自身について伺います。あてはまる番号に○印をつけてください。

年 齢	1. 20代 4. 50代	2. 30代 5. 60代	3. 40代 6. 70代以上
性 別	1. 男性	2. 女性	3. その他 4. 回答しない
職 業	1. 会社員 3. 自営業（農林水産業） 5. 主婦 7. 学生 9. その他（	2. 自営業（商工・サービス業） 4. 公務員 6. アルバイト・パート 8. 無職)
ご家族	1. 1人	2. 2人	3. 3～4人 4. 5人以上
住居形態	1. 戸建（持ち家） 3. 集合住宅（持ち家） 5. 社宅・寮	2. 戸建（賃貸） 4. 集合住宅（賃貸） 6. その他（)
大網白里市での在住年数	1. 5年未満 3. 10年以上～20年未満	2. 5年以上～10年未満 4. 20年以上	
お住まいの地区	1. 瑞穂地区 4. 増穂地区	2. 山辺・大和地区 5. 福岡・白里地区	3. 大網地区
日常、最も多く使う 移動手段	1. 徒歩 4. 自動車 7. その他（	2. 自転車 5. バス	3. バイク 6. 鉄道)

問1. 現在の大網白里市の環境の快適さ全般について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 今の状態に満足している。 2. まあまあ満足している。 3. どちらともいえない。 4. あまり満足できない。 5. 満足していない。 6. 関心（興味）がない。

問2. 大網白里市の“青空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもきれいだ。 4. あまりきれいではない。	2. どちらかと言えばきれいだ。 5. きれいではない。	3. どちらとも言えない。
-------------------------------	---------------------------------	---------------

問3. 大網白里市の“星空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 星がよく見える。 4. 星はあまり見えない。	2. まあまあ星が見える。 5. 星はほとんど見えない。	3. どちらとも言えない。
------------------------------	---------------------------------	---------------

問4. 大網白里市の“空気”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 | 3. どちらとも言えない。 |
| 4. あまりきれいではない。 | 5. きれいではない。 | |

問5. 大網白里市の“川や水路”について、あなたはどのように思いますか。川や水路はたくさんありますが、あなたが市内で思いつく川や水路について、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 | 3. どちらとも言えない。 |
| 4. あまりきれいではない。 | 5. 汚い。 | |

問6. 大網白里市の“海”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 | 3. どちらとも言えない。 |
| 4. あまりきれいではない。 | 5. 汚い。 | |

問7. 大網白里市の“里山”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. とてもよい環境が維持されていると思う。 | 2. ある程度、よい環境が維持されていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい環境だとは思わない。 |
| 5. ひどい環境だと思う。 | |

問8. 大網白里市の“農地”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. とてもよい状態で維持されていると思う。 | 2. ある程度、よい状態が維持されていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | |

問9. 大網白里市の“緑の豊かさ”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---------------------|---------------|
| 1. 緑が豊かである。 | 2. どちらかと言えば緑が豊かである。 | 3. どちらとも言えない。 |
| 4. あまり緑が豊かとは言えない。 | 5. 緑は豊かでない。 | |



問10. 大網白里市の“緑の環境”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. とてもよい状態で維持されていると思う。 | 2. ある程度、よい状態が維持されていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | |

問11. ”緑を増やす”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 市内にもっと緑を増やすべきである。 | 2. 場所を選んで適度に増やしていくべきである。 |
| 3. 現状程度でよい。 | 4. むしろ減らしてもよい。 |
| 5. 減らすべきだ。 | 6. その他 () |

問12. 問11で1もしくは2を選んだ方にお伺いします。どのような緑が増えればよいと思いますか。あてはまるものの番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|--------|
| 1. 街路樹 | 2. 個人の庭先やベランダ | 3. 森や林 |
| 4. 公園や公共施設の花壇など | 5. 河川の堤沿い | |
| 6. その他 () | | |

問13. “農地”の活用について、あなたはどのようにしたらよいと思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. もっと農作物を作ったほうがよい。 |
| 2. 農家以外の人でも耕作できるようにしたほうがよい。 |
| 3. 宅地などに開発していったほうがよい。 |
| 4. 今のままでよい。 |
| 5. その他 () |

問14. “里山”の活用について、あなたはどのようにしたらよいと思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 市民の大切な財産であり、条例などで保全をする。 |
| 2. 人が訪れやすいように観光資源としても活用しながら維持管理していくのがよい。 |
| 3. 宅地などに開発していったほうがよい。 |
| 4. 今のままでよい。 |
| 5. その他 () |

問15 “ごみの減量”について、あなたは、どのようにしてごみの減量を進めるべきだと思いますか。
あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 余分・余計なものを買わない。
2. 買い物袋の活用や、生ごみの堆肥化など様々な工夫で、家庭から出るごみの量を減らす。
3. ごみ収集において、徹底的な分別を行う(たとえば10種類以上の分別をするなど)。
4. その他()

問16. 「3R (スリーアール)」という言葉についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。 ※リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つのR (アール) の総称。

1. 言葉の意味を知っている。
2. 言葉を聞いたことがある。
3. 知らない、聞いたことがない。

問17. 市内4箇所に設置してある「リサイクル回収倉庫」の利用状況についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 利用している。
2. 利用していない。
3. 回収倉庫があるのを知らなかった。

問18. 問17で「2.利用していない」と答えた方にお伺いします。利用していない理由について、あてはまるものの番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 地区の集団回収に出している。
2. ごみ集積所に出している。
3. リサイクル回収倉庫まで運べない。
4. 新聞店の回収や民間業者の回収に出している。
5. その他()

問19. 生ごみ堆肥化装置等を購入した場合、市から補助金を交付する制度がありますが、この補助制度についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 利用したことがある。
2. 利用したことはない。
3. 補助制度があるのを知らなかった。



問20. “環境に関する情報の提供”についてお伺いします。環境に関する情報は十分に得られていますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------------|------------|
| 1. 十分に得ている。 | 2. どちらかと言えば得ている。 | |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. どちらかと言えば不足している。 | 5. 不足している。 |

問21. “環境に関する情報の提供”についてお伺いします。あなたは、環境に関してどのような情報が知りたいですか。あてはまるものの番号にいくつでも○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 市の環境について知りたい。 |
| 2. 環境全般（世界の現状、日本の現状など）について知りたい。 |
| 3. 環境に関する市民の活動などについて知りたい。 |
| 4. 市（行政）の事業や施策について知りたい。 |
| 5. 環境に関する他の市町村の取り組みなどについて知りたい。 |
| 6. 国や県などの環境対策や施策などについて知りたい。 |
| 7. 企業や事業者などの環境に関する取り組みなどについて知りたい。 |
| 8. その他（ ） |

問22. 大網白里市の“環境に関するボランティア活動”は、盛んだと思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------|
| 1. とても盛んだと思う。 | 2. どちらかと言えば盛んだと思う。 | |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまり盛んではない。 | 5. 全く盛んではない。 |



問23. 大網白里市第6次総合計画にある環境についての政策についてお伺いします。あなたは、下の10の取り組みについて、どのように思われますか？取り組みごとに、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

	1.ぜひ進めてもらいたいし、参加したいと思う。	2.進めてもらいたいと思うが、参加したいとは思わない。	3.どちらとも言えない。	4.よい取り組みだとは思わないし、さほど参加したいと思わない。	5.興味(関心)がない。または、わからない。
1.温室効果ガス排出量の削減	1	2	3	4	5
2.省エネ取り組みの促進(照明のLED化等)	1	2	3	4	5
3.再生可能エネルギーの利用(太陽光や風力発電の導入等)	1	2	3	4	5
4.ごみ収集・処理体制の充実	1	2	3	4	5
5.循環型社会形成の推進	1	2	3	4	5
6.自然環境の再興	1	2	3	4	5
7.自然との共生	1	2	3	4	5
8.緑化・環境美化活動の推進	1	2	3	4	5
9.公害・不法投棄対策の推進	1	2	3	4	5
10.空き家対策の推進	1	2	3	4	5



問7. 大網白里市の“川や水路”について、あなたはどのように思いますか。川や水路はたくさんありますが、あなたが市内で思いつく川や水路について、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. 汚い。 | 6. わからない。 |

問8. 大網白里市の“海”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. 汚い。 | 6. わからない。 |

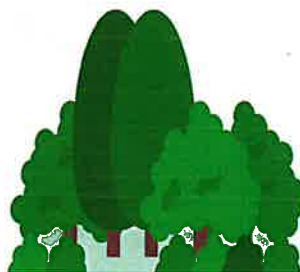
問9. 大網白里市の“里山^{さとやま}”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

(※“里山”とは、たき木や炭、落葉など暮らしに活用した林のことを呼んでいましたが、今では田んぼや畑、小川、原っぱ、草地、ため池、雑木林^{ぞうきばやし}などがある場所のことを指すようになっていきます。)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. とてもよい状態が保たれていると思う。 | 2. ある程度よい状態が保たれていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | 6. わからない。 |

問10. 大網白里市の“農地”（田んぼや畑）について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. とてもよい状態で保たれていると思う。 | 2. ある程度よい状態が保たれていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | 6. わからない。 |



問1 1. 市内の“緑”（木や草花などの植物）の多さについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 緑が多い。 | 2. どちらかと言えば緑が多い。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまり緑が多いとは言えない。 |
| 5. 緑が少ない。 | 6. わからない。 |

問1 2. 現在、大網白里市の環境をより良いものにするためには、何をしていくとよいと思いますか。重要だと思うものを3つまで選び、あてはまるものの番号に○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 緑を増やす。（市の中に緑を増やし、いろいろな生き物のいる環境をつくる。） |
| 2. 農地や里山を大切にする。（自然環境で重要な場所である農地や里山を守る。） |
| 3. ごみを減らす。（ごみ分別、生ゴミの肥料化などにより家から出すごみの量を減らす。） |
| 4. 自動車中心の生活を見直し、安全に楽しく歩いたり自転車に乗ったりすることを考える。 |
| 5. 環境に関する情報を集め、市の人に知らせていく。（地球や日本や大網白里市の環境がどうなっているか、環境対策の技術がどうなっているかなどの環境に関する情報を、市民にいつでも伝えることができるようにする。） |
| 6. 環境について取り組む仲間を増やす。（地域や環境に関心をもち、環境について一緒に取り組む仲間を増やす。） |
| 7. その他（ ） |

問1 3. 問1 2の 1. にある“緑”（木や草花などの植物）を増やすについておたずねします。あなたは緑を増やすことについて、どう思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 市内にもっと緑を増やすべきだ。 | 2. 増やす場所決めて増やしていくべきだ。 |
| 3. 今のままでよい。 | 4. むしろ減らしてもよい。 |
| 5. 減らすべきだ。 | 6. その他（ ） |



問17. まちづくりの方針となる大網白里市総合計画に環境に関する取り組みがあります。あなたは、下にある10の取り組みについて、どのように思いますか？それぞれの取り組みについて、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

	1. ぜひ進めてもらいたいし、参加したいと思う。	2. 進めてもらいたいと思うが、参加したいとは思わない。	3. どちらとも言えない。	4. よい取り組みだとはあまり思わないし、さほど参加したいと思わない。	5. わからない。
1. 二酸化炭素排出量を減らす取り組み	1	2	3	4	5
2. 節電の取り組み	1	2	3	4	5
3. 再生可能エネルギー（太陽光など使ってもなくなるらないエネルギー）の利用の取り組み	1	2	3	4	5
4. ごみの分別の取り組み	1	2	3	4	5
5. リサイクル（形を変えて、もう一度使うこと）の取り組み	1	2	3	4	5
6. 自然を守る取り組み	1	2	3	4	5
7. 自然とのふれあい（遊び場）づくりの取り組み	1	2	3	4	5
8. 花を育てたり、ごみ拾い活動などの取り組み	1	2	3	4	5
9. 公害の防止、ポイ捨て防止の取り組み	1	2	3	4	5
10. 空き家（誰も住んでいない家）対策の取り組み	1	2	3	4	5



問20. 環境を維持していくためにはどうしたら良いでしょうか。アイデアを記入してください。

A large rectangular box with a solid black border, containing ten horizontal dashed lines for writing.

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

